宮崎大学 University of Miyazaki ～世界を視野に 地域から始めよう～　**報道発表**

令和３年６月 23 日

各報道機関　　御中

宮崎大学企画総務部
総務広報課長

地元で水揚げされた魚 815 種掲載「新・門川の魚大図鑑」が完成

宮崎大学では、県内各地の地域課題を解決するために県内自治体と連携事業を実施しております。2017 年６月には、門川町とも包括連携協定を締結し、様々な連携事業を実施しており、その連携事業の一つとして実施してきたプロジェクトにより、大図鑑『新・門川の魚図鑑 ひむかの海の魚たち』が５年の歳月を経て完成しました。

本図鑑は、「さかなのまち」として知られてきた門川町（湾）周辺の魚類多様性を学術的に証明し、門川町の魅力を発信することを目的として作られたものです。門川町役場をはじめとする地域の方々の多大な協力を得ながら、農学部准教授の村瀬敦宣をはじめ延岡にある水産実験所において研究をしている宮崎大学生等が相当な時間をかけて地元で採れた魚一つ一つを撮影し、作成した地域に密着した図鑑となっております。

７月より販売が開始されるほか、門川町のふるさと納税の返礼品としても採用されましたので、取材についてご検討いただければ幸いです。

また、別紙のとおり、本図鑑をはじめとする本学と門川町との連携事業による成果を紹介する展示企画およびイベントを実施いたしますので、併せて御案内させていただきます。

記

【販売方法等について】

○価　　格：3,000 円（消費税込み）

○入手方法：以下の窓口にて購入できます。

・門川町役場まちづくり推進課

・門川町観光協会　・かどがわ温泉心の杜

※郵送販売についてはお問い合わせください。

○販売開始：令和３年７月１日～

【ふるさと納税返礼品について】

○寄 付 額：10,000 円につき一冊

○事業主体：門川町

○申込方法：ふるさと納税サイト「楽天」等で申込

○申込期間：令和３年７月１日～

【連携事業に関する問合せ】
宮崎大学産学・地域連携センター（吉井）
TEL：0985-58-7188

【ふるさと納税に関する問合せ】
門川町役場まちづくり推進課（河野）
TEL：0982-63-1140

【発信元】
宮崎大学企画総務部総務広報課広報係（後田）
TEL：0985-58-7114　FAX：0985-58-2886

「新・門川の魚図鑑」展示会

&

特別セミナー「門川の海の魅力」

「新・門川の魚図鑑」展示

期　間：2021年7月1日～7月20日
場　所：宮崎大学附属図書館１階
時　間：08:40-21:00
※土日（09:00-17:00），祝日（休館 ）

特別セミナー「門川の海の魅力」

日　程：2021年7月1日(木)
時　間：09:30-10:20
定　員：20 名
対　象：高校生以上
場　所：宮崎大学附属図書館ワークショップコート（1階）
講　師：村瀬敦宣（農学部海洋生物環境学科准教授）

5年間の歳月を経て、浅い場所から深海を含む門川町の沖合（水深20～363m）で水揚げされた815種が掲載された357ページにおよぶ大図鑑が完成しました。今回の調査海域より広範囲に及ぶ東京湾では約700種。さらに大きな北海道全域では約800種（淡水魚を除く）であり、今回の狭い調査海域で815種を記録したことで、門川湾周辺の海の豊かさが日本有数クラスであることを学術的に証明することができました。

セミナー希望の方は、ホームページよりお申し込み下さい。

宮崎大学　公開講座　検索

申　込 先：宮崎大学産学・地域連携センター

TEL：　0985-58-7188（平日10：00-16：00）
MAIL：　m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp

815種掲載「新・門川の魚大図鑑」が完成
（2021年7月1日発売開始）

2021年7月1日発売開始　門川町ふるさと納税返礼品にも採用

門川町は昔から「さかなの町」として知られてきた。そんななか、2017年に宮崎大学が門川町と包括連携協定を締結し、連携事業の一環として門川町の海の豊かさを学術的に解明するための「さかな図鑑プロジェクト」が始められ、2019年には3年の歳月を経て515種が掲載された図鑑『宮崎県のさかなのまち門川の魚図鑑』が出版されました。

今回新たに、深海を含む門川町の沖合(水深20～363m)で操業している底曳網漁業で漁獲された魚類も対象に含めた大図鑑『新・門川の魚図鑑 ひむかの海の魚たち』が完成しました。

大図鑑の最大の特徴は、その魚種の多さ。なんと、**815種の魚が全て地元で採れた実物のカラー写真で掲載**されています。

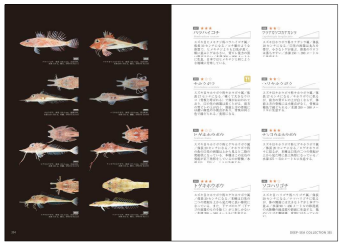
さらに、**3段階の水深で分けられたそれぞれの環境別に魚類を紹介**していて、立体的に門川の海の多様さと、それぞれの環境に生息する魚種の違いを知ることができるようになっていて357ページにもおよぶ大作となっています。

今回の調査海域より広範囲に及ぶ東京湾では約700種。さらに大きな北海道全域では約800種であり、今回815種を記録したことで、門川湾周辺の海の豊かさを学術的に証明しました。

前作同様に、それぞれの魚の生息域やめずらしさ、毒の有無などをアイコンでわかりやすく表示しているほか、前半のページでは代表的な魚をピックアップして、親しまれている料理まで詳しく紹介してどなたも楽しめる内容になっております。また、付録として「お魚みっけシート」があり、子どもも楽しめるようにするための工夫もちりばめられています。

▲代表魚紹介ページ
▼沖合漁場（陸棚）の魚のページ

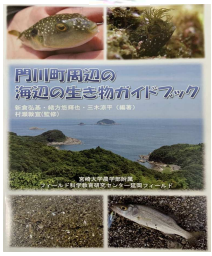
▲浅場の魚のページ
▼深海漁場の魚のページ



海辺の生き物ガイドブック

身近な水辺の生き物を紹介したガイドブックを製作し、門川町内の全ての小学生全員に配布！（2018年度）

門川町周辺の海辺の生き物ガイドブック贈呈式（2018年7月17日）



門川の魚かるた

幼児期からでも遊びながら地域の魚を知ることができる「門川の魚かるた」を製作！デザインは全て学生によるもの！（2020年度）

お魚カルタ大会（2020年2月15日）

門川町おさかなガイドブック

宮大生が中心となって「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」の一環として製作。門川町の漁業、水辺の魅力や魚を題材として紹介しています。（2020年度）

さかなゲーム UOCON

プログラミングサークル「ドットキューブ」の学生が製作。今後、小中学生に配付されるタブレットにインストールして学びに役立ててもらえればと考えております。（2021年度）

宮崎大学
UNIVERSITY OF MIYAZAKI

農学部海洋生物環境学科　准教授　村瀬敦宣
農学工学総合研究科博士課程　緒方悠輝也　他